

芸術	3年選択	科目名	陶芸	担当者	
使用教科書		技法書などの副読本を使用			
履修学年		第 3 学年	履修単位	2 単位	
学習の目標	陶芸の幅広い創造活動をととして、美的体験を豊かにし、生涯にわたり工芸を愛好する心情と生活を豊かにするために工夫する態度を育てるとともに、感性を高め創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、工芸の伝統と文化についての理解を深める				
評価基準 及び方法	①興味・関心・意欲	陶芸の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や工芸文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組むことができたか			
	②知識・技術	創造的な陶芸の表現をするために必要な技術を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫して表すことができたか			
	③発想・創造	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、想像性豊かな作品を制作できたか			
	授業への取り組み・片付け・清掃・作品の完成度・プリント提出・作品提出（各課題の締切日は必ず守る）など総合的に評価				
その他留意点	道具の扱い方には十分に気を付け、安全教育を徹底する				

学習計画

月	内容・考査など	学習内容及び教材など	時間配分
4 5 6 7	○工芸 I の概要 ○陶芸 (ロクロ成形)	・ 1 年間の授業の流れを知る  ・ ロクロ成形の全行程（機械操作・道具の扱い・成形・削り・釉薬がけ等）の基礎を学び、コップや皿を制作する	2  2 4
9 10 11 12	○陶芸 (たたら成形) (てびねり成形) ○課題研究 (感謝)	・ たたらの技法を学び雑器やオブジェのデザインを考え制作する ・ てびねりの技法を学び雑器やオブジェのデザインを考え制作する ・ 学んできた技法から自ら課題とするテーマを設定し、お世話になった方に作品をプレゼントする	1 2  8  6
1	○課題研究の続き		1 3
2	○課題研究発表	・ 課題研究成果の発表	2

※変更のある場合があります

※鑑賞（校内作品展、教科書、校外展示会）は随時取り入れます